

Ⅱ期集会と化石講話

5月27日（月）、体育大会の振り返りの前にⅡ期の生徒集会が開かれました。体育大会後から前期終業式までの期間、テーマは『仲間と創り出す』です。その説明とともに、Ⅱ期の重点委員会である図書委員長と給食委員長からの取組内容の説明、Ⅰ期を受けたⅡ期についての先生の話、教育実習生2名の自己紹介（←「教員」になりたいという想いが、今回の実習によって更に強く、現実的になることを期待しています。）という流れで進みました。

その後、5月13日から教育実習中の浅井先生が大学で学んでいる専門分野である、『化石』についての話を全校で聴きました。北中クジラとパレオパラドキシアを中心とした話は、身近なところから出土した化石であり、とても興味深く聴くことができました。また、出土した化石の価値についての話から、校区内で発見されたことへの喜び・地元への誇りにもつながったと言えます。

浅井先生は今回の発表のために、全校生徒に伝わるようにプレゼンを準備され、丁寧な説明、落ち着いた語り口での話でした。浅井先生の『化石』への熱い想いがひしひしと伝わり、短時間でしたが、生徒たちにとって貴重な時間となりました。教員となって戻ってみたいことを楽しみにしています。

